

R5年度ペアレンツ・デーでのご質問への回答

番号	質問	回答
1	①進学、就職はどのように決めていくのか？	基本的には、学生本人の希望・判断で決められるものと考えます。学生は進学セミナー（説明会）、就職ガイダンスあるいは各学科の就職担当教員などから情報収集をして決めています。進学については、本学は大学院進学率が高く、科学技術系大学院基軸大学を標榜していることから、大学院進学を推奨しています。修士（博士前期課程）修了者は、企業等の技術者や研究者として就職することが多く、博士（後期）課程修了者は、企業等の研究者や大学や国立研究機関の教員・研究員などとして世界中で活躍しています。就職については、指導教員と相談しながら学生自身が主体的に就職活動を行うほか、指導教員、学科、専攻ごとの推薦等、態様は様々ですが、多くの学生が希望する企業、研究者の道などに進み活躍しています。
2	②進学時の受験対応は？	学部・学科・研究室ごとに異なりますが、例としては3年次後期に研究室に配属されてから、大学院進学を意識した、指導教員等によるきめ細かい進路指導が行われています。また、8月末の大学院入試に備えて、約1か月前から、卒業論文研究（実験）を控えて、大学院入試に向けた受験勉強期間を設けている研究室も複数あります。
3	③3年次からの研究、卒業論文はどのように決まり、遂行されていくのか	学生の希望にできるだけ沿った形で研究室配属がなされ、指導教員の指導のもと研究を遂行しています。また、希望者が多い研究室については、それまでの成績や今後の研究意欲等を総合的に勘案して配属学生を決定します。卒業論文については、研究を進めていく中で、学生の希望や適性、本人が取り組んでいる研究の見通し等を指導教員が確認した上で研究テーマを決め、卒業論文に取り組みます。
4	④他学科との交流は行われているのか？	講義については、他学部・他学科開講授業の履修も一定の範囲で認められています。その他、課外活動（サークル活動）を通して、他学科あるいは他学部の学生とも十分に交流をする機会があります。

5	⑤学校として学生の家族への対応についてどのようなことが考えられているのか？周知方法は？	<p>本学では学生のみならず、ご家族の方への情報発信についても重視しており、今年度から新たに規導入した新学修管理システム（愛称：SIRIUS）では、学生の学修状況について、ご家族の方と共有できるようにしています。具体的には学生の成績を閲覧でき、また申請機能により学籍異動手続きをWEBで承認できるようにしています。その他、ペアレンツ・デーを開催しており、ご家族の方に対して学科や配属先の研究室に関する説明を行っています。このため、学生がどのような環境で卒業研究を行っているのかについてもご理解いただけるものと考えています。</p>
6	⑥なかなか難しいとは思いますが、授業参観のようなことの計画はあるか？	<p>現在のところ、授業参観については計画しておりません。大学の雰囲気や研究室の様子を関係するご家族の皆様にも知っていただく取組として、今回のペアレンツ・デーを実施しております。また、関連することとして、農工大の教員、研究内容等をわかりやすく伝えることをモットーに、農工大の学生たちが自らインタビューした記事を掲載するwebサイト「先生大図鑑」などがあります</p>
7	①農工大院以外の他大学院への進学状況（国内外別も）。	<p>令和4年度学部卒業生908名のうち、大学院へ進学した者が671名おり、そのうち54名が他大学へ進学しています。このうち海外の大学院へ進学した者はいませんが、修士課程から博士課程へ進学した者51名のうち1名が海外の大学へ進学しています。</p>
8	②英語力強化に向けた目標有無や取組状況	<p>本学グローバル教育院を中心に世界に通用する幅広い視野を持つ教養力、コミュニケーション力、グローバルに活躍するための異文化を理解する力を育む取り組みを行っております。目的、語学力や専門に応じて様々な留学プログラムを用意しております。また国際研究サポートのためにGo Global TUAT（英語力向上プログラム）等も提供しています。短期留学プログラムの詳細は以下のホームページをご覧ください。 https://web.tuat.ac.jp/~studyabroad/#PROGRAM</p>

9	<p>③学生への情報の取り扱いや格付けの指導状況（特に留学生向け）。</p>	<p>本学では、留学生に向けた個人情報保護やSNS利用についての注意喚起について、4月と10月に実施している留学生オリエンテーションにおいて、情報メディアセンターの教員からITサービス利用関連の案内、注意事項に関する資料、動画を提供し、留学生に案内を行っています。また、情報の取扱いについては、1年次全員に情報オリエンテーションを開催しており、情報倫理の基本をはじめ、大学生活での生活における情報との関わりやセキュリティインシデントを起こさないための留意事項、SNSやインターネットを利用する上で注意すべきこと、知的財産とその保護等について学ぶ機会を提供しています。また、研究を開始する4年次及び大学院生には研究倫理教育とともに、改めて情報倫理教育も行っています。</p>
10	<p>現在息子が共同獣医学科でお世話になっております。将来大学院への進学を考えているようです。6年間の就学を終え、経済的にも独立していかなければならない年齢となり、研究職、教職、一般企業への就職など、大学院卒業後はどのような就職、方向が一般的に考えられますでしょうか？獣医学科から大学院卒業後の方向性について、少し具体的にお教え頂きたいと思っております。よろしくお願ひ致します。</p>	<p>本学の共同獣医学科、共同獣医学専攻を修了した学生は、様々な分野に就職しています。最近では、大学教員、大学研究員（ポスドク）の後に大学教員、国あるいは県の公務員（研究所/行政）、製薬会社、伴侶動物/産業動物臨床獣医師などに多くの学生が就職しています。また、多くの学生が博士課程で取得した専門スキルを社会で活かすことを考え、大学院修了後は動物病院や自治体に獣医師として就職しています。</p>

<p>11</p>	<p>研究室で実行される海外研修などの同行費はどれくらいまでの補助があるのですか？子どもが研究室配属後の海外研修を楽しみにしているのですが大学院まで行ってからなどではないのかな？などと想像しているのですが研究室配属後すぐから同行できたりするものなのでしょうか？また同行されない場合でも実費出したら同行できるとかというのものもあるのでしょうか？</p>	<p>大学としての取り決めはなく、研究室での海外研修は、その有無も含めて研究室ごとに異なるため一概に回答できませんが、研究成果に基づく国際会議での成果発表のために学生が海外出張することは日常的に行われています。渡航費の費用補助も含め支援内容は、渡航の目的や予算状況により異なりますが、研究室の指導教員の判断により研究費から支出されることも多くあります。また、博士後期課程学生については、大学からの支援などにより本人の負担無しに長期留学することもできます。</p> <p>なお、本学では、留学を積極的に支援する以下のような種々のプログラムを用意しております。</p> <p>https://www.tuat.ac.jp/international/for_japanese_students/</p>
<p>12</p>	<p>昔は理系の場合、研究室や大学のつながりから就職先が決まると聞きましたが、現在はどのようにして就職先が決まるのでしょうか。就職活動やインターンシップは必要でしょうか。</p>	<p>本学では、より高度で専門的な知識を獲得してからの社会での活躍を期待していることなどから、大学院への進学を強く推奨しています。</p> <p>就職支援としては、同窓会とも連携し8月と2月の年間2回、大学主催の合同企業研究会を開催し、学生が企業の担当者から業界や企業の情報を得る機会を設けています。また、本学独自の取組として、「企業情報掲載WEBページ」を開設し、本学学生の採用に関心のある企業の情報を発信しており、積極的な利用を奨励しています。その他、民間の各種就活サービスでも様々な情報を発信しています。学生はこれらから得た情報を基に、自身の進路を決定することとなります。また、最近では、インターンシップへの参加から採用に繋がる流れが多くなっています。このようなことから、インターンシップへの参加や就職活動を行うことは重要であると考えられます。</p> <p>なお、本学では就職支援室の設置や各種就職支援なども実施していますので、積極的なご利用をお願いします。</p> <p>また、本学の学生は企業等から高い評価を受けており、就職を希望する学生の97%が就職しています。</p>